

ATZ220915\_EJ

報道各位

2022年9月15日  
公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館

## アーティゾン美術館 2023年 展覧会スケジュール

公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館（館長 石橋 寛）は、2023年に開催する展覧会スケジュールを決定しましたので、ご案内します。

### 2023年 展覧会一覧

	6階展示室	5階展示室	4階展示室
1月	パリ・オペラ座—響き合う芸術の殿堂 会期：2022年11月5日[土] - 2023年2月5日[日]		石橋財団コレクション選 特集コーナー展示 Art in Box —マルセル・デュシャンの《トランクの箱》とその後 会期：2022年10月25日[火] - 2023年2月5日[日]
2月			
3月	第59回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展 日本館展示帰国展	アートを楽しむ —見る、感じる、学ぶ 会期：2023年2月25日[土] - 5月14日[日]	石橋財団コレクション選 特集コーナー展示 画家の手紙 会期：2023年2月25日[土] - 5月14日[日]
4月	ダムタイプ   2022: remap 会期：2023年2月25日[土] - 5月14日[日]		
5月			
6月	ABSTRACTION 抽象絵画の覚醒と展開 セザンヌ、フォーヴィスム、キュビズムから現代へ 会期：2023年6月3日[土] - 8月20日[日]		
7月			
8月			
9月	ジャム・セッション 石橋財団コレクション×山口晃	創造の現場 —映画と写真による芸術家の記録 会期：2023年9月9日[土] - 11月19日[日]	石橋財団コレクション選 特集コーナー展示 読書する女性たち 会期：2023年9月9日[土] - 11月19日[日]
10月	ここへきて やむに止まれぬ サンサシオン 会期：2023年9月9日[土] - 11月19日[日]		
11月			
12月	マリー・ローランサン —時代を写す眼 会期：2023年12月9日[土] - 2024年3月3日[日]	石橋財団コレクション選 特集コーナー展示 野見山晁治 会期：2023年12月9日[土] - 2024年3月3日[日]	

\*記載事項は変更の可能性があります。最新情報はウェブサイトをご確認ください。

## 第 59 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展日本館展示帰国展

# ダムタイプ | 2022: remap

Japan Pavilion Exhibition in Tokyo—From the 59th International Art Exhibition, La Biennale di Venezia  
Dumb Type, 2022: remap

会期：2023 年 2 月 25 日 [土] - 5 月 14 日 [日]



ダムタイプ《2022》 撮影：高谷史郎 ©ダムタイプ

第 59 回ヴェネチア・ビエンナーレ国際美術展の日本館展示に選出されたのは、日本のアート・コレクティブの先駆的な存在であるダムタイプ。1984 年の結成時から一貫して、身体とテクノロジーの関係を独自の方法で舞台作品やインスタレーションに織り込んできた彼女/彼らは、坂本龍一を新たなメンバーに迎え、ヴェネチアで新作《2022》を発表しました。「ポスト・トゥルース」時代におけるコミュニケーションの方法や世界を知覚する方法について思考を促す本作を、帰国展として再構成してご紹介します。

アーティスト：ダムタイプ（プロジェクトメンバー：高谷史郎、坂本龍一、古館健、濱哲史、白木良、南塚也、原摩利彦、泊博雅、空里香、高谷桜子 ほか）

会場：アーティゾン美術館 6 階展示室

開館時間：10:00–18:00（5 月 5 日を除く金曜日は 20:00 まで）\*入館は閉館の 30 分前まで

休館日：月曜日

主催：公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館、独立行政法人国際交流基金

入館料（税込）：日時指定予約制

ウェブ予約チケット 1,200 円、当日チケット（窓口販売）1,500 円、学生無料（要ウェブ予約）

\*ウェブ予約チケットが完売していない場合のみ、美術館窓口でも当日チケットを販売します。

\*中学生以下の方はウェブ予約不要です。

\*この料金で同時開催の展覧会を全てご覧いただけます。

# アートを楽しむ ー見る、感じる、学ぶ

Delighting in Art —Seeing, Feeling, Learning

会期：2023年2月25日[土] - 5月14日[日]



ベルト・モリゾ《バルコニーの女と子ども》1872年



アンリ・マティス《青い胴着の女》1935年

アーティゾン美術館は、みなさまに美術作品により親しんでいただくために、これまでさまざまなラーニングプログラムをご提供してまいりました。この展覧会は、こうしたプログラムの成果をもとに、所蔵作品の中から厳選した作品を、ひと味違った展示方法により楽しんでいただくものです。内容は「肖像画の世界へ——絵や彫刻の中の人になってみよう」、「風景画への旅——描かれた景色を体感する」、「印象派の世界を体感する——近代都市パリの日常風景」の3つのセクションで構成します。作品をじっくりご覧いただき、存分にその世界を感じていただき、さらにより深く学んでいただく機会をご提供します。

会場：アーティゾン美術館 5階展示室

開館時間：10:00-18:00（5月5日を除く金曜日は20:00まで）\*入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日

主催：公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館

入館料（税込）：日時指定予約制

- ウェブ予約チケット1,200円、当日チケット（窓口販売）1,500円、学生無料（要ウェブ予約）
- \*ウェブ予約チケットが完売していない場合のみ、美術館窓口でも当日チケットを販売します。
- \*中学生以下の方はウェブ予約不要です。
- \*この料金で同時開催の展覧会を全てご覧いただけます。

# ABSTRACTION 抽象絵画の覚醒と展開

セザンヌ、フォーヴィスム、キュビズムから現代へ

ABSTRACTION: The Genesis and Evolution of Abstract Painting

Cézanne, Fauvism, Cubism and on to Today

会期：2023年6月3日[土] - 8月20日[日]



フランティセック・クプカ《赤い背景のエチュード》  
1919年頃【新収蔵作品】



ウィレム・デ・クーニング《一月》1947-48年  
【新収蔵作品】 ©2022 The Willem de Kooning Foundation,  
New York/ ARS, New York/ JASPAR, Tokyo ☆

19世紀末から第一次世界大戦が勃発するまでの間、フランスが平和と豊かさを享受することが出来たベル・エポックの時代。芸術を生み出す活気と自由な雰囲気にも満ち溢れ、世紀初頭にはフォーヴィスム、キュビズムなどの新しい美術が芽吹いて花咲き、やがて絵画表現の到達点のひとつとして抽象絵画の誕生を導きました。その後抽象絵画は20世紀の美術表現を主導することになりました。この展覧会は、抽象絵画の発生の前後より、戦前戦後のフランス絵画を中心とした興隆の動向、戦後についてはフランスの熱い抽象、抽象表現主義、さらには日本の実験工房や具体など同時多発的に、多様に展開し、次代へとつながった抽象絵画のあゆみを展観します。

会場：アーティゾン美術館 6・5・4階展示室

開館時間：10:00-18:00（8月11日を除く金曜日は20:00まで）\*入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日（7月17日は開館）、7月18日

主催：公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館

入館料（税込）：日時指定予約制

ウェブ予約チケット1,800円、当日チケット（窓口販売）2,000円、学生無料（要ウェブ予約）

\*ウェブ予約チケットが完売していない場合のみ、美術館窓口でも当日チケットを販売します。

\*中学生以下の方はウェブ予約不要です。

ジャム・セッション 石橋財団コレクション×山口晃

## ここへきて やむに止まれぬ サンサシオン

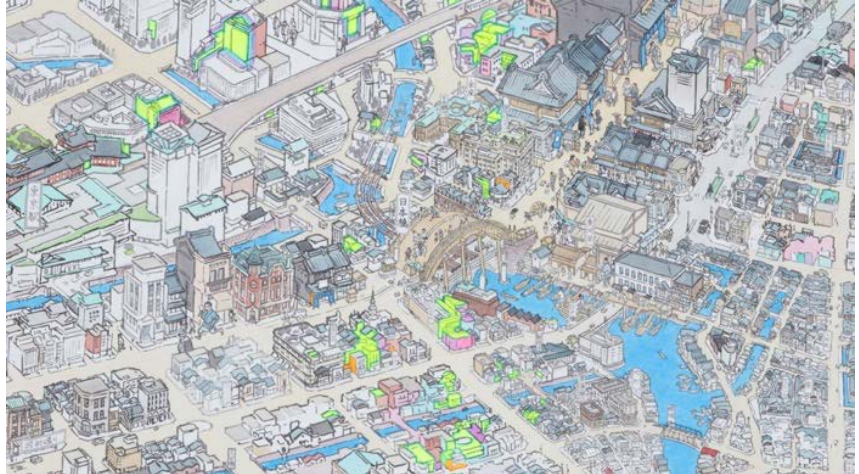
Jam Session: The Ishibashi Foundation Collection x Yamaguchi Akira

Drawn to the Irresistible Sensation

会期：2023年9月9日 [土] - 11月19日 [日]



山口晃《当世壁の落書き》  
2021年 作家蔵



山口晃《東京圖》(部分) 作家蔵

日本は近代を接続し損なっている、いわんや近代絵画をや。

写実絵画やアカデミズム絵画に対する反動としての、あるいはその本来性を取り戻すためのものが西欧の〈近代絵画〉であろう。が、写実絵画やアカデミズム絵画の歴史を持たぬ本邦に移入された近代絵画とはなんであろう。

西欧の近代絵画と日本の近代絵画を蔵する石橋財団コレクションを前にして、改めて、山口晃(1969-)はそう述べます。

今回のジャム・セッションでは、「近代」、「日本的コード」、「日本の本来性」とは何かを問い、歴史や美術といった人間社会の制度をぶちぎらんとする、「やむに止まれぬサンサシオン」な山口晃をご覧ください。

会場：アーティゾン美術館 6階展示室

開館時間：10:00-18:00 (11月3日を除く金曜日は20:00まで) \*入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日(9月18日、10月9日は開館)、9月19日、10月10日

主催：公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館

入館料(税込)：日時指定予約制

- ウェブ予約チケット1,200円、当日チケット(窓口販売)1,500円、学生無料(要ウェブ予約)
- \*ウェブ予約チケットが完売していない場合のみ、美術館窓口でも当日チケットを販売します。
- \*中学生以下の方はウェブ予約不要です。
- \*この料金で同時開催の展覧会を全てご覧いただけます。

# 創造の現場 —映画と写真による芸術家の記録

From the Scene of Creation —Artists' Archives in Films and Photographs

会期：2023年9月9日[土] - 11月19日[日]



撮影の様子（左下が梅原龍三郎）



安齊重男《堂本尚郎、作家スタジオ、東京、1980年6月》  
1980/2017年

1953年、ブリクストン美術館は開館の翌年に映画委員会を発足しました。1964年までの11年間に60人の芸術家取材し、アトリエでの制作風景や日常の様子などを記録した17本の映画を制作しました。また、近年当館は安齊重男（1939-2020）によるアーティストの記録写真を収集しています。安齊は戦後の現代美術の現場を記録し続けた写真家です。芸術家の記録映画制作や安齊作品の収集は、芸術に関わるアーカイブに対する石橋財団の一貫した姿勢を示すものとして捉えることができます。本展は映画委員会が制作した貴重な美術映画と取材対象となった芸術家たちによる作品、そして安齊作品を紹介し、日本近現代美術の現場を展覧します。

会場：アーティゾン美術館 5階展示室

開館時間：10:00-18:00（11月3日を除く金曜日は20:00まで）\*入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日（9月18日、10月9日は開館）、9月19日、10月10日

主催：公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館

入館料（税込）：日時指定予約制

ウェブ予約チケット1,200円、当日チケット（窓口販売）1,500円、学生無料（要ウェブ予約）

\*ウェブ予約チケットが完売していない場合のみ、美術館窓口でも当日チケットを販売します。

\*中学生以下の方はウェブ予約不要です。

\*この料金で同時開催の展覧会を全てご覧いただけます。

# マリー・ローランサン ー時代を写す眼

Marie Laurencin: An Eye for Her Time

会期：2023年12月9日[土] - 2024年3月3日[日]



マリー・ローランサン 《二人の少女》1923年

マリー・ローランサン（1883-1956）は、20世紀前半に活躍した女性画家です。ローランサンは、パリのアカデミー・アンペールで学び、キュビズムの画家として活動をはじめました。1914年にドイツ人男爵と結婚、ドイツ国籍となったため、第一次世界大戦が始まるとフランス国外への亡命を余儀なくされました。1920年に離婚を決意して、パリに戻ってくると、1921年の個展で成功を収めます。第二次世界大戦勃発後もほとんどパリに暮らし、1956年に73歳で亡くなるまで制作をつづけました。本展ではローランサンの画業を複数のテーマから紹介し、関連する他の画家たちの作品と比較しつつ、彼女の作品の魅力をご紹介します。

会場：アーティゾン美術館 6階展示室

開館時間：10:00-18:00（2月23日を除く金曜日は20:00まで）\*入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日（1月8日、2月12日は開館）、12月28日-1月3日、1月9日、2月13日

主催：公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館

入館料（税込）：日時指定予約制

ウェブ予約チケット1,800円、当日チケット（窓口販売）2,000円、学生無料（要ウェブ予約）

\*ウェブ予約チケットが完売していない場合のみ、美術館窓口でも当日チケットを販売します。

\*中学生以下の方はウェブ予約不要です。

\*この料金で同時開催の展覧会を全てご覧いただけます。

# 石橋財団コレクション選

## Selections from the Ishibashi Foundation Collection

石橋財団は、19世紀後半の印象派から20世紀の西洋近代絵画、明治以降の日本の近代絵画、第二次世界大戦後の抽象絵画、日本および東洋の近世・近代美術、ギリシア・ローマの美術など現在約3,000点の作品を収蔵しています。これらコレクションの中から選りすぐりの作品を年間を通じて様々にご紹介します。

### 特集コーナー展示 Special Section

4階コレクション選のフロアに特集コーナー展示を設けています。今年度は以下の展示を予定しています。

### 画家の手紙 Artists' Letters

会期：2023年2月25日 [土] - 5月14日 [日]



画家の手紙には、師弟、先輩、後輩、友人、妻、恋人、子に対する思い、創作にまつわる悩みや苦勞、エピソードが記され、ときに作家の人柄や人間模様もかいま見えます。石橋財団コレクションの中から、坂本繁二郎ら日本近代洋画家の手紙にまつわる作品、あるいは手紙そのものをご紹介します。

坂本繁二郎《パリ郊外》1923年

会場：アーティゾン美術館 4階展示室

開館時間：10:00-18:00（5月5日を除く金曜日は20:00まで）\*入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日

主催：公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館

入館料（税込）：日時指定予約制

ウェブ予約チケット1,200円、当日チケット（窓口販売）1,500円、学生無料（要ウェブ予約）

\*ウェブ予約チケットが完売していない場合のみ、美術館窓口でも当日チケットを販売します。

\*中学生以下の方はウェブ予約不要です。

\*この料金で同時開催の展覧会を全てご覧いただけます。



## 読書する女性たち Women Reading

会期：2023年9月9日 [土] - 11月19日 [日]



ヨーロッパでは18世紀以降、読書する女性の姿が描かれるようになります。西洋に学んだ日本近代の画家たちも、同じ画題を取りあげました。本展では、石橋財団コレクションから、女性が読者として描かれたマティスやカサット、山下新太郎らの作品を紹介します。

メアリー・カサット《娘に読み聞かせるオーガスタ》1910年

会場：アーティゾン美術館 4階展示室

開館時間：10:00-18:00（11月3日を除く金曜日は20:00まで）\*入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日（9月18日、10月9日は開館）、9月19日、10月10日

主催：公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館

入館料（税込）：日時指定予約制

ウェブ予約チケット1,200円、当日チケット（窓口販売）1,500円、学生無料（要ウェブ予約）

\*ウェブ予約チケットが完売していない場合のみ、美術館窓口でも当日チケットを販売します。

\*中学生以下の方はウェブ予約不要です。

\*この料金で同時開催の展覧会を全てご覧いただけます。

## 野見山暁治 NOMIYAMA GYOJI

会期：2023年12月9日 [土] - 2024年3月3日 [日]



野見山暁治（1920-）は、具象と抽象のあいだを漂う独特の画風を確立し、102歳を迎える今年も精力的に作品を制作しています。特集コーナー展示「野見山暁治」では、近年新たに収蔵した3点を初公開し、石橋財団の所蔵作品から野見山暁治の魅力に迫ります。

野見山暁治《夕ヒチ》1974年

会場：アーティゾン美術館 5・4 階展示室

開館時間：10:00-18:00 (2月23日を除く金曜日は20:00まで) \*入館は閉館の30分前まで

休館日：月曜日(1月8日、2月12日は開館)、12月28日-1月3日、1月9日、2月13日

主催：公益財団法人石橋財団アーティゾン美術館

入館料(税込)：日時指定予約制

ウェブ予約チケット1,800円、当日チケット(窓口販売)2,000円、学生無料(要ウェブ予約)

\*ウェブ予約チケットが完売していない場合のみ、美術館窓口でも当日チケットを販売します。

\*中学生以下の方はウェブ予約不要です。

\*この料金で同時開催の展覧会を全てご覧いただけます。

アーティゾン美術館 〒104-0031 東京都中央区京橋 1-7-2

Tel: 国内 050-5541-8600 海外 047-316-2772 (ハローダイヤル) [www.artizon.museum](http://www.artizon.museum)

アクセス：JR 東京駅(八重洲中央口)、東京メトロ銀座線・京橋駅(6番、7番出口)、東京メトロ銀座線/東西線/都営浅草線・日本橋駅(B1出口)から徒歩5分

\*所蔵の記載のない作品は全て石橋財団アーティゾン美術館蔵です。

\*記載事項は変更の可能性があります。最新情報はウェブサイトをご確認ください。

## 広報用図版使用の注意

掲載時には必ずクレジットをご記載ください。また文字載せやトリミングはご遠慮ください。

広報用画像データのダウンロードはこちら <https://www.artpr.jp/artizon/schedule2023>

☆マークがついている著作権保護期間中の図版については広報課にお問い合わせください。



本プレスリリースについてのお問合せ先

アーティゾン美術館 広報課 松浦・小川・宮武

\*一般の方のお問合せ先は050-5541-8600(ハローダイヤル)です。

E-mail: [publicity@artizon.jp](mailto:publicity@artizon.jp) TEL: 03-6263-0132 (広報課直通・誌面への掲載はご遠慮ください。)

〒104-0031 東京都中央区京橋1-7-2